



バザリカードゲーム
作者：Reinhard Staupe
人数：3～5人用
対象年齢：10歳以上
プレイ時間：約30分

<内容物>

宝石 88 個（各色 22 個）、バザールカード 39 枚、アクションカード 20 枚（A～D 各 5 枚）、宝石の価値カード 1 枚

<ゲームの準備>

各プレイヤーは、宝石 12 個（各色 3 個）及び A～C のアクションカードを 1 枚ずつ受け取ります。



上図のように自分の宝石を色で分けて置きます。宝石の価値は赤色が最も高く、以下、黄色、緑色、青色の順となります。



3 枚のアクションカード（A～C）を手札として持ちます。このカードはゲームを通して使用します。プレイ人数により余ったアクションカードは箱に戻しておきます。

テーブルの中央に置くもの：残りの宝石をストックとしてテーブル中央に置きます。39 枚のバザールカードをよくきって裏向きの山札としたものと宝石の価値カードもテーブルの中央に置きます。

最後に：プレイヤーの中で得点記録係を決めます。得点記録係は紙にプレイヤー全員の名前を記載し、ゲーム中発生した全得点を記入していきます。

メモ：アクションカード D は 5 人プレイ時にのみ使用します（巻末 5 人プレイ用ルール参照）。

<3～4 人用ゲームの進め方>

合計 3 ステージをプレイします。各ステージの最後には得点を記録します。1 ステージは幾つかのラウンドで構成されます。各ラウンドの進め方は以下に従います：

1. 各プレイヤーは 1 枚のバザールカードを受け取る。

各プレイヤーは山札からバザールカードを 1 枚ずつ受け取り、それを表向きに自分の前に置きます。このカードはステージの終了まで残ります。ステージの最中、バザールカードを失うことはありません。ステージ中にラウンドを繰り返すことで、自分の前のバザールカードが増えていきます。（訳者注：バザールカードは少しずつずらして置き、カードに記載されているすべてのワーカーが見えるようにします）

2. 各プレイヤーは 1 枚のアクションカードを選択して裏向きにだす

各プレイヤーは自分の 3 枚のアクションカードの中から 1 枚を選択し、他のプレイヤーに内容がわからないように自分の前に裏向きに伏せて置きます。全員がアクションカードを置き終わったら、一斉に内容を公開します。

3. アクションの実行

アクションの実行と交渉をアクション A、B、C の順番に 1 つずつ実施していきます。

<アクション A>

アクション A では、バザールカードを山札から 1 枚ひき、それを自分の前にあるバザールカードの上に表向きに重ねます。この時、自分の全てのバザールカードのワーカー（カード 1 枚につき 1～4 人）が見えるようにカードを少しずらしておきます。

<アクション B>

アクション B では、このラウンドに受け取ったバザールカードに示されている勝利点（4～7 点）を獲得します。得点記録係はこの勝利点を直ちに紙に記入します。

<アクション C>

アクション C では、このラウンドに受け取ったバザールカードに示されている宝石（2～4 個）をストックから得ます。獲得した宝石は自分の宝石置場に色ごとにわけて置きます。

➤ あなたがそのアクションカードを選択している唯一のプレイヤーである場合は、対応するアクションを直ちに実行します

- 同じアクションカードを選択しているプレイヤーが丁度 2 人いる場合は、どちらのプレイヤーがそのアクションを実行するのか、交渉を行います。
- 同じアクションカードを選択しているプレイヤーが 3 人以上いる場合は、そのアクションは誰も実行することができず、何も得ることはできません。



Sarah (アクション A を選択) 山札の一番上からパズルカードを 1 枚引き、自分の前にあるパズルカードに重ねます。彼女のワーカーは合計 5 人になりました。

Hanna (アクション B を選択) は 5 勝利点を得ます。直ちに紙に勝利点を記載します。

Max (アクション C を選択) は赤色の宝石 2 個と青色の宝石 1 個をテーブル中央のストックから獲得します。獲得した宝石は、自分の宝石置場に色分けして置きます。

全てのアクションが実行されたら (必要な交渉も含めて)、次のラウンドへ移行することができます。以降のラウンドも上記に従って行っていきます。

注意：複数枚のパズルカードを保有している状態であっても、新しく獲得したパズルカードは必ず一番上に置かなくてはなりません。また、すべてのワーカーが見えるように置くことも忘れないでください。

ストックの宝石が尽きたら：

ストックにある宝石が尽きて、直ぐに補充されません。尽きた色の宝石は、一次的にストックから得ることのできない宝石となります。ステージ終了時の得点計算で宝石は補充されることとなります。

<交渉>

丁度 2 名のプレイヤーが同じアクション (A、B 又は C) を選択した場合は、どちらがそのアクションを行うのかを交渉で決定しなくてはなりません。交渉では、交互に相手の宝石の提案を上回るような宣言を、どちらかが相手の提案を受け入れてアクションをあきらめるまで続けていきます。

最初の提案は最も多くの赤色の宝石を所有しているプレイヤーから始めます。もしも、赤色の宝石の所有数が一緒であれば、以下、黄色の宝石の数、緑色の宝石の数、青色の宝石の数、勝利点、ワーカーの数の順番で提案を最初に行うプレイヤーを決めます。最初の提案は任意の数の任意の種類の宝石で始めてかまいませんが、最低 1 つの宝石を提案しなければなりません。もしも、提案する宝石を所有していなかった場合は、相手は無料でアクションを行うことができます。

提案されたプレイヤーには 2 つの選択肢があります：

- 提案を受け入れる。提案された宝石を受け取り、自分の宝石置場に色別に分けて置きます。提案したプレイヤーはそのアクションを行います。
- 提案を競り上げる。提案を競り上げられたプレイヤーがその提案を受け入れるか、さらに提案を競り上げるかを決めなければなりません。どちらかのプレイヤーが提案を受け入れるまで提案の競り上げは続きます。競り勝ったプレイヤーがそのアクションを行います。

提案を競り上げるには 2 つの方法があります：

宝石の数：相手よりも多い**宝石の数**を提案することができます。この場合、宝石の色は関係ありません。

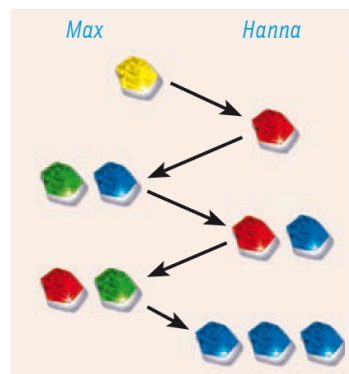
又は

宝石の価値：相手の提案と同じ数 (少なくともはいけません) で、**価値の高い宝石**を提案することができます。同じ数の提案では、赤色の宝石の数が多いほうが優位となります。もしも赤色の宝石の数一緒ならば、黄色の宝石の数が多いほうが、以下、緑色、青色の順で優位を判定します。

例：赤色の宝石 1 つと青色の宝石 3 つ (計 4 つ) の提案は黄色の宝石 4 つの提案より優位となります。

注意：提案を競り上げる時は、自分の**以前の提案に縛られる必要はありません**。つまり、以前の提案の宝石を一旦手元に戻し、新たな提案をすることが出来るという事です。提案している宝石の数が分かり易い様に、自分の宝石置場から移動させて提案を示す様にしてください。

例：Max と Hanna は交渉する必要があります。Max は黄色の宝石1つを提案して自分の宝石置場から黄色の宝石を1つ出しました。Hanna は競り上げを選択し、赤色の宝石1つを提案します。Max と Hanna は、Hanna が青の宝石3つを提案するまで競り上げを続けました。Max はその提案を受け入れ、Hanna の所有していた青の宝石3つを受け取り、自分が提案していた宝石を回収して自分の宝石置場に色分けして置きます。Hanna はそのアクションを実行します。



<ステージの終了と得点計算>

いずれかのプレイヤー（複数の場合もあります）のワーカーが**15人以上**となった時、そのラウンドの全てのアクションを実行した後にステージは終了します。（現在のラウンドは最後まで実施するという事です。）

- 最も多く赤色の宝石を所有しているプレイヤーは**14勝利点**を得ます。勝利点を記録した後、勝利点を得たプレイヤーは自分の赤色の宝石の半分をストックに戻します（端数切り上げ）。同様に、黄色：12勝利点、緑色：10勝利点、青色：8勝利点を処理します。

（得点計算のサマリー）

その色を最も沢山持っている>勝利点獲得>その宝石を半分ストックに戻す（端数切り上げ）

注意：もしも最も多くの宝石を持っているプレイヤーが複数居たら、勝利点をそれらのプレイヤーで分けます（端数切り下げ）。この場合、勝利点を得た各プレイヤーはその色の宝石を2つストックへ戻します。

- ワーカーを15人以上持っているプレイヤーは**全員12勝利点**を獲得します。つまり、ワーカーによる勝利点は分かち合うことはないということです。

得点計算を実施した後、39枚のバザールカードを**全て合わせてよくきり**、新たな山札とします。所有している宝石はそのままプレイヤーの手元に残ります。そして、新たなステージを上記のルールに従って始めます。合計3ステージをプレイしたら、ゲームは終了し、最も得点を多く獲得していたプレイヤーが勝利します（同点の場合は複数の勝者がいることになります）。

<5人プレイ用ルール>

各プレイヤーは4枚のアクションカード（A、B、C、D）を受け取ります。ゲームの準備と進め方は以下の点を除いて3～4人プレイと同様にします：

- アクションDを選択した場合は、必ずそのアクションを実行することができます。アクションDは邪魔される事はありませんし、交渉を行う必要もありません。

アクションDでは：

- アクションDを選択したプレイヤーが1人のみであった場合、任意の1つの宝石をストックに戻し、ストックから任意の2つの宝石を獲得して自分の宝石置場に色別に分けて置きます。
- アクションDを選択したプレイヤーが複数人の場合、アクションDを選択した各プレイヤーは、任意の宝石を丁度1つ、ストックから獲得して自分の宝石置場に色別に分けて置きます。宝石を獲得する順番は、交渉の順番を決めるルールに従って決定します（最も多く赤色の宝石を持っている、次に黄色の宝石を…等）。

訳者：COQ

The Board Game Laboratory
<http://tbgl.p1.bindsite.jp>